

取扱説明書

32

HIGH-DEFINITION TV

32型 DVD再生機能付き
ハイビジョンテレビ

型番：D32TV



はじめに

使う前の準備

テレビを見る

ディスク再生

その他



HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

CPRM対応

この度は液晶テレビをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の 48 ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。国外での使用はできません。
また、日本国外でのアフターサービスも出来ません。

This product is designed for use in Japan and cannot be used
outside of Japan. No service is available outside of Japan.

もくじ

■はじめに

もくじ	2
安全上の注意	3
使用上の注意	5
ディスクの取り扱いと用語	6
同梱品	8
各部のなまえ	9

■使う前の準備

スタンドの取り付け	12
リモコンに電池を入れる	13
アンテナを接続する	14
miniB-CASカードを入れる	15
はじめての設定	16
受信レベルの確認とアンテナの調整	17

■テレビを見る

テレビを見る	18
デジタル放送の便利な機能	19
・画面表示を見る	19
・番組情報を見る	19
・音声を切り換える	19
・字幕を表示する	19
・番組表を表示する	20
本機の便利な機能	21
・音を消したいとき	21
・映像モードを設定する	21
・画面サイズを変える	21
・入力を切り換える	21
メニュー画面の操作方法	22
・受信レベル	22
・チャンネルスキャン	22
・リモコン設定	22
・映像設定	23
・音質設定	23
・PC接続設定	23
・省電力設定	23
・字幕表示設定	23
・同軸デジタル音声出力設定	24
・オフタイマー設定	24
・言語設定	25
・設定初期化	25
・システム情報	25

■ディスク再生

DVDの再生	26
CDの再生	30
DVDの機能設定	31

■その他

外部機器と接続のしかた	34
・HDMI端子を使う	34
・ヘッドホン音声出力端子を使う	34
・映像端子を使う	35
・パソコンを接続する	36
・VGAケーブルで接続する	36
壁にかけてつかうとき	37
地域別チャンネル表	38
故障かな?と思ったら	40
製品仕様	43
お手入れのしかた	44
廃棄の際のご注意	44
アフターサービス	45
保証規定	47
保証書	48
お問合せ	48

安全上の注意

表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



禁止

絶対に分解したり、修理・改造をしないでください。
発火したり、異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。



強制

異常・故障時は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
発火したり、異常動作して、火災や感電の原因になります。お買い上げの販売店、または弊社カスタマーセンターへ連絡してください。

P.48



強制

壁掛け工事は専門業者に依頼してください。
壁掛け工事が不完全ですと、落下しけがの原因になります。



禁止

電源コードに重いものを乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグは、傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近づけるなど)しないでください。
火災・感電の原因になります。電源コードが痛んだ場合、お買い上げの販売店、または弊社カスタマーセンターへ交換をご依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触らないでください。
感電の原因になります。



禁止

通風孔や穴などにピンや針金など金属製のものを入れないでください。
発火したり、異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。



禁止

浴室や水のかかりやすい場所、湿気が多い場所に設置しないでください。
漏電による火災・感電の原因になります。



禁止

水をかけないでください。
テレビの中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。



禁止

テレビを落としたり、キャビネットを破損した時は使用しないでください。
火災・感電の原因になります。



強制

電源プラグの刃と刃の間に付いたホコリは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。
火災・感電の原因になります。



強制

電源は、交流100Vを使ってください。
交流100V電源以外で使用すると、火災・感電の原因になります。



強制

包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意してください。
かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。

安全上の注意 (つづき)

⚠ 警告



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



強制

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置かないでください。
火災の原因となることがあります。また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。



禁止

湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かないでください。
加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがないでください。壁に押しつけないでください。風通しの悪い所に押し込まないでください。(10cm以上の間隔を空けてください)
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



強制

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かず、プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



禁止

不安定なテレビ台やキャスター付きの台など不安定な場所に据え付けないでください。
倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかた、タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



強制

ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量は徐々に上げてください。
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。



強制

旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



禁止

液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしないでください。
ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に直接触れないで、拭き取ってください。
もれた液が目にはいたり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。



強制

1年に一度は通風孔がホコリなどで詰まっていないか確認してください。
本機の内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

⚠ リモコンに使用する乾電池に関する注意



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しないでください。
- ⊕ ⊖ 極性表示を間違えて挿入しないでください。
- 充電・加熱・火への投入・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかないでください。液漏れにより、リモコンの故障の原因になります。
- 液漏れがあった場合は、液に触れないでください。
もしも液が目や口に入ったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従ってください。

使用上の注意

- 本製品を横倒しにして輸送した場合、液晶パネルの破損や画面欠点の増加の恐れがあります。横倒しでの輸送をしないでください。運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんで衝撃・振動を与えないでください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所（棚や押入れの中など）や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。
- 液晶パネルには、画面の一部に暗点（光らない点）や輝点（余計に光る点）がある場合があります。これは故障ではありません。
- 本機を長時間使用したときに、液晶パネル表面や本機上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合でも、故障ではありません。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- テレビ放送、外部入力ソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケによっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。
- miniB-CAS カードは必要なときだけに抜き差ししてください。必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。B-CAS カードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、強い衝撃を加えたり、金属の端子部分に触れたりしないでください。本機に差し込むときは逆に差し込まないように注意してください。
- 電源プラグは長期間で使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
■電源プラグをコンセントから抜く場合、電源プラグを抜いている間に録画予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
- リモコンを落としたり、踏んだり、リモコンに液体をかけたりしないように、ていねいに扱ってください。直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- ケーブルテレビ、・共聴・集合住宅設備で放送を受信する場合は、事業者または管理者にアンテナの接続方法についてお問い合わせください。
- 本機を廃棄処分する場合や他人に譲渡したりする場合、「設定初期化」を実行していただき、設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行ってください。 **P.25**
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク	映像(動画)+音声	12cm
音楽用CD	音 声	12cm

また、以下のメディアも再生することができます。

DVD、DVD-R/RW(VRモード/CPRM記録ディスク含む)CD、CD-R/RW、JPEG、MP3、MPEG-4

※テレビ放送を2時間超えて録画したDVDは、正常に再生できない場合があります。

※上記のディスクであっても、録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合がありますので、予めご了承ください。

※パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合がありますので、予めご了承ください。

※H. 264/MPEG 4AVC形式のファイルは非対応です。

※本機は、NTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

※DVD±R DLには対応しておりません。また、JPEG、MP3、MPEG-4等のデータは状況により再生できない場合があります。ファイナライズ未処理のディスクは再生できません。ご注意ください。

■CPRM について

CPRMとはContent Protection for Recordable Mediaの略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクにダビングし再生するにはCPRM対応のディスクと再生機器が必要になります。

■ファイナライズについて

ファイナライズとは、映像をダビングしたディスクと再生機器の互換性を高めるための処理のことです。例えば、映像をダビングしたディスクを再生する場合、そのディスクにダビングをした機器(DVDレコーダー等)では再生が可能なのに、同じディスクを他の機器で再生しようとするとディスクエラーとなる場合があります。これは、ダビングを行った機器ではディスクにデータが記録されている場所が認識できますが、それ以外の機器ではデータの場所が分からないために起こる現象です。このような事態を避け、そのディスクに記録したデータを他の機器でも再生可能なデータ配列にするためにファイナライズという処理が必要になります。

■リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のパッケージには、販売地域によってリージョンコードが表示されています。

リージョンコードが「2」または「ALL」が含まれるときは、本機で再生可能です。

(リージョンコードが同じでも日本向け以外のディスクでは正常に再生できない場合があります)

ディスクの取扱いと用語

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

トラック：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

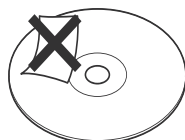
は
じ
め

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手をふれないでください。

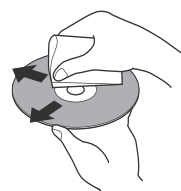


- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクの取り扱いかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよこれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



- よこれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

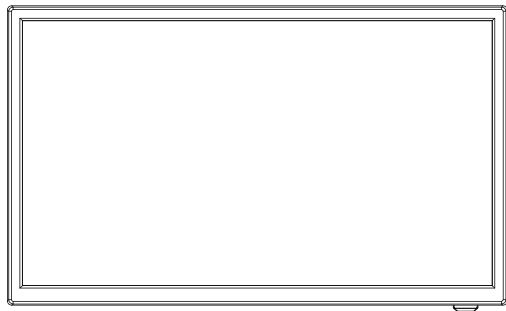
ディスク保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

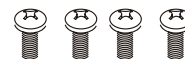
同梱品

●付属品が揃っていることをお確かめください。



本体

スタンド部品一式



スタンド固定ネジ × 4個



miniB-CAS ★
地上デジタル専用
(株) B-CAS
TEL 0570-000-250
所有権は当社に属します

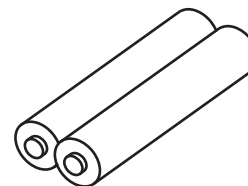
miniB-CASカード x 1



赤外線リモコン x1台



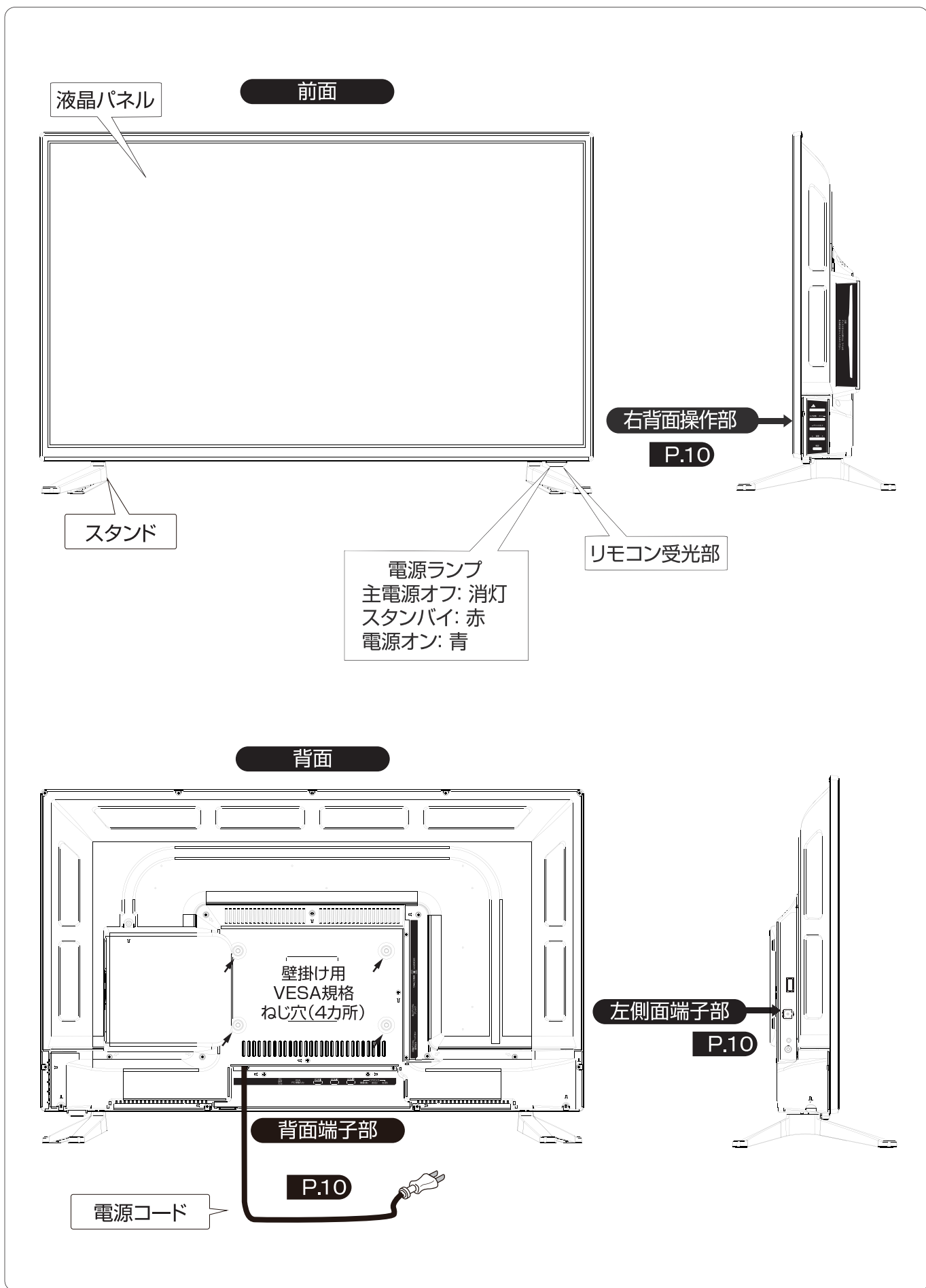
取扱説明書 x1部



リモコン用単四電池 x 2本
(動作確認用)

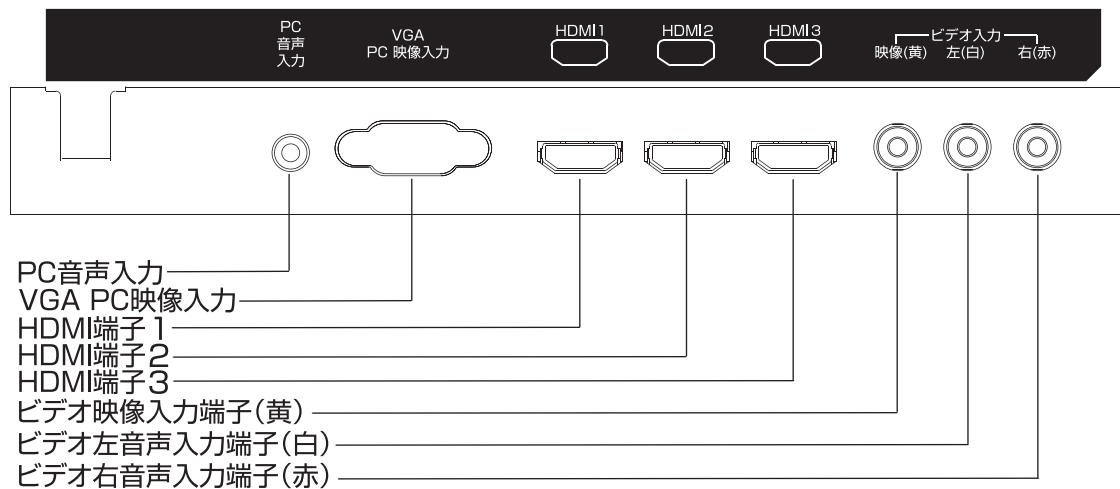
はじめに

各部のなまえ



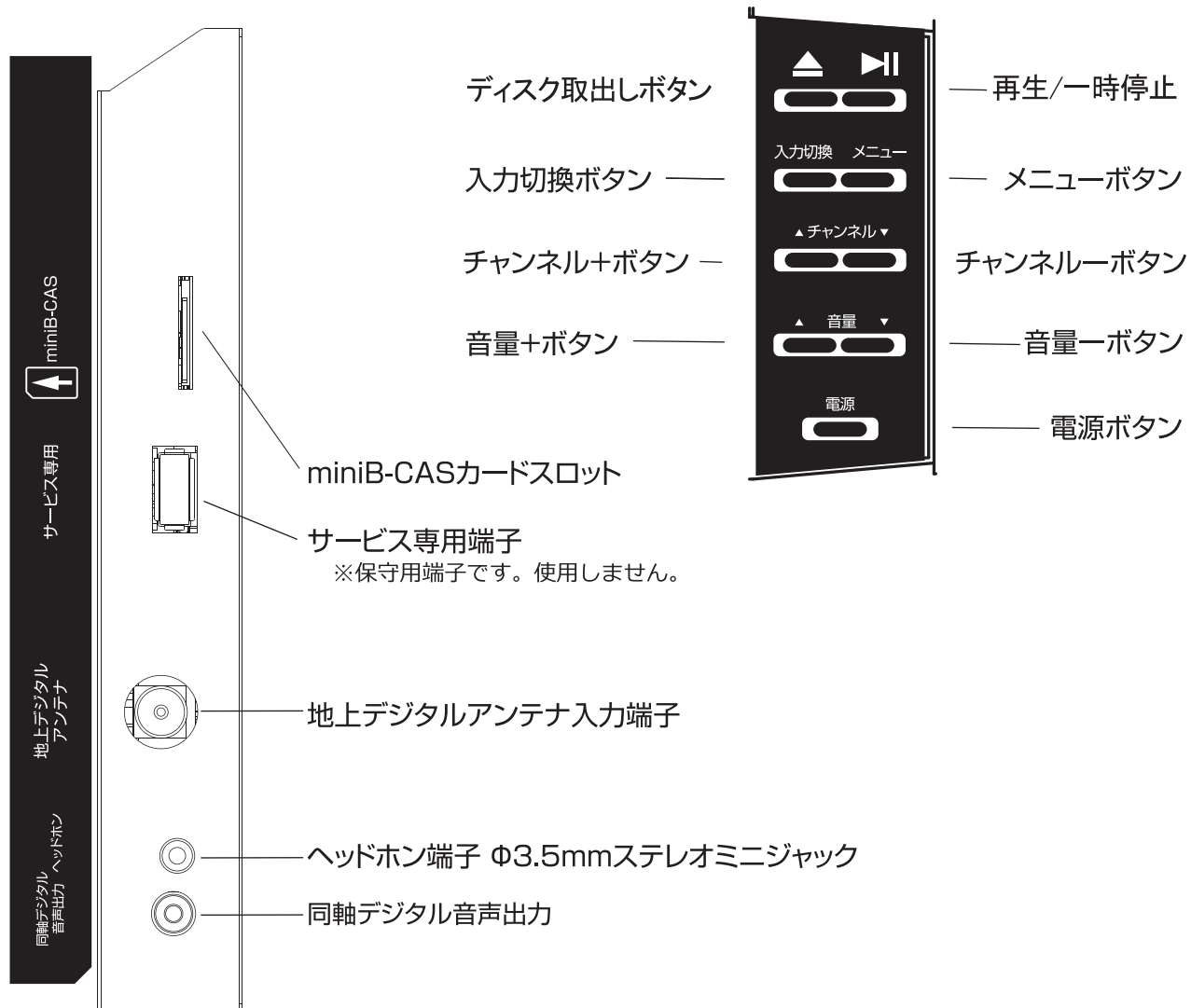
各部のなまえ (つづき)

背面端子部



左面端子部

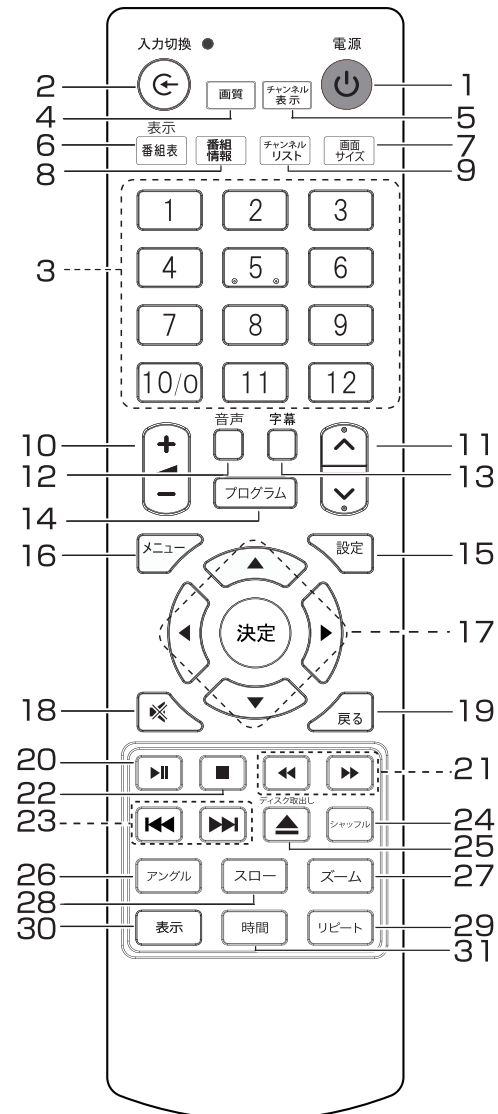
右面操作部



各部のなまえ (つづき)

リモコン

- 1 電源ボタン
テレビの電源を「オン」「オフ」します。
- 2 入力切替ボタン
メニューより外部入力を選択します。
- 3 1 ~ 10/0、11、12 数字ボタン
チャンネルを選択します。
- 4 映像映像モードボタン
お好みの映像モードを選択するときに使います。
- 5 チャンネル表示ボタン
現在受信している番組や選択している外部入力の情報を表示します。
- 6 番組表番組表ボタン
番組表を表示します。
- 7 画面サイズ画面サイズボタン
画面サイズを変更するときに使用します。
- 8 番組情報番組情報ボタン
視聴中の番組内容を表示します。
- 9 チャンネルリストチャンネルリストボタン
登録されたチャンネルリストを表示します。
- 10 音量+/-ボタン
音量を大きくしたり、小さくしたりします。
- 11 チャンネル順番ボタン
チャンネルを順番に切り換えます。
- 12 音声音声切替ボタン
2 カ国語/ステレオなど音声を切り換えます。
- 13 字幕字幕ボタン
字幕を切り換えます。
- 14 プログラムプログラムボタン
ディスクのプログラム再生設定を行います。
- 15 設定設定ボタン
DVD機能設定画面を表示します。
- 16 メニューメニューボタン
メニュー画面を表示します。
- 17 決定決定ボタン
メニュー画面の選択項目を決定します。
 方向キーボタン
メニューを選択するときに使用します。
- 18 消音消音ボタン
音声を一時的に消音にします。もう一度押すと消音を解除します。
- 19 戻る戻るボタン
メニュー画面を表示しているときに、1 つ前の画面に戻ります。
- 20 再生/一時停止再生/一時停止ボタン
再生や一時停止を行います。
- 21 早送り/早戻し早送り/早戻しボタン
ディスクの再生中に早送り・早戻し再生を行います。
- 22 停止停止ボタン
再生中の停止を行います。
- 23 チャプタースキップチャプタースキップボタン
ディスクの再生中、次または前のチャプターを再生します。
- 24 シャッフルシャッフルボタン
シャッフル再生を行います。



- 25 ディスク取り出しボタン
ディスクを取り出します。
※ディスク取り出しは、電源を入れて入力切替ボタンでDVDへ切替えてから行ってください。
- 26 アンクルアンクルボタン
アンクル切替機能付きディスクの再生中、アンクルの切替を行います。
- 27 ズームズームボタン
画面の倍率・比率を変更します。
- 28 スロースローボタン
スロー再生を行います。
- 29 リピートリピートボタン
再生中のチャプターやタイトルごとに、繰り返し再生を行います。
- 30 表示表示ボタン
ディスクの再生中、現在のチャプターや残り時間等の情報を表示します。
- 31 時間時間ボタン
ディスクの再生中、現在のチャプターや、再生時間等の情報を表示します。

使う前の準備

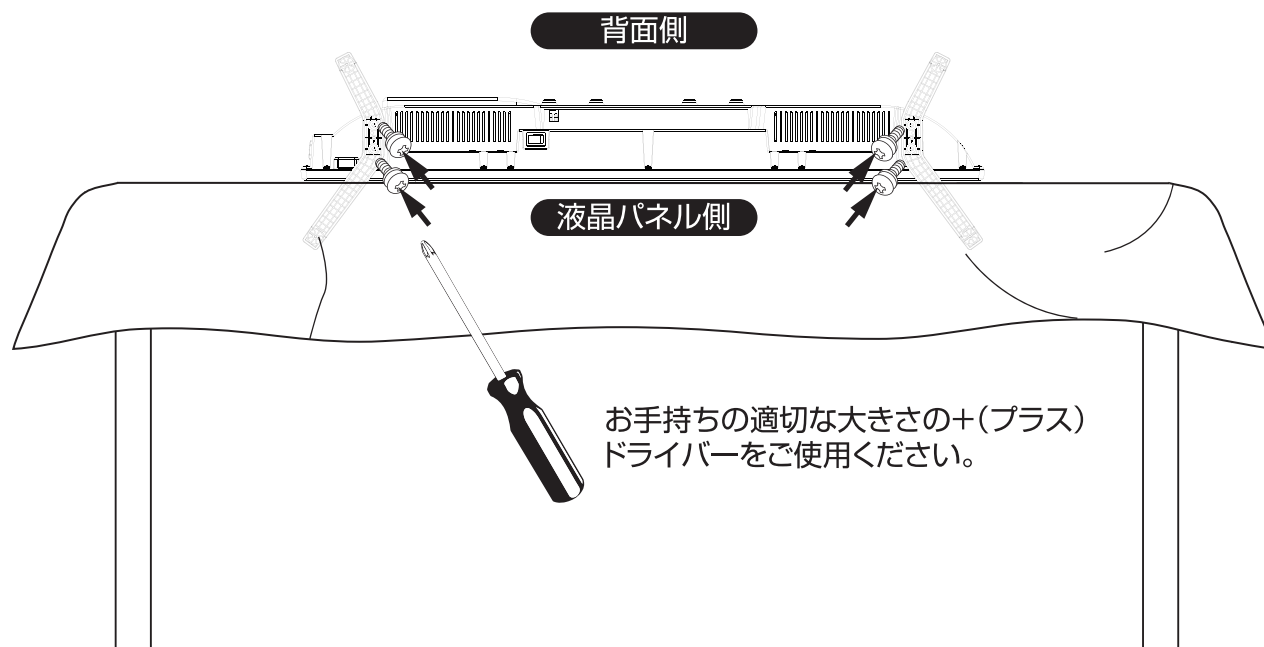
スタンドの取り付け

- 本機をご使用前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付けの際は、スタンドの取り付け向に注意してください。
- 本製品にスタンドを付けずに、別売の壁掛け用金具を使用して本機背面のVESA規格のねじ穴を使い壁に掛けることができます。 **P.37**

⚠️ ご注意

- 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。衝撃や圧力で液晶パネルが破損する可能性があります。
- スタンドの取り付け方向を間違えると、本機が転倒する恐れがあります。
取り付け位置と方向を合わせ図を参考に、本体とスタンドの刻印を合わせて付属のネジで取り付けてください。

- 1** 台などの上に柔らかい布(毛布など)を敷き、液晶パネルが下向きになるようにして、本機を台の上に置きます。
- 2** 本機のスタンド取り付け位置に合わせ、付属のネジ(4本)で固定します。



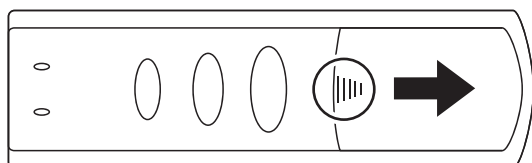
お知らせ

- プラスドライバーは、グリップ部分や軸部に「No2」、「P2」、「PH2」と表記されているプラスドライバーでの組み立て使用をおすすめします。

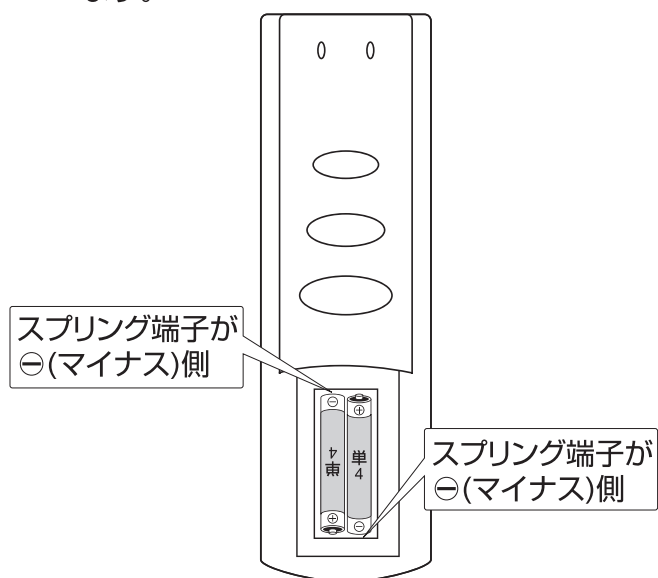
使う前の準備 (つづき)

リモコンに電池を入れる

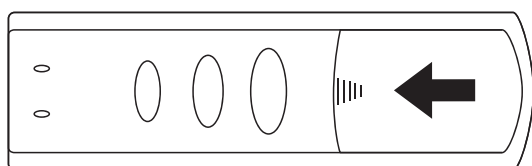
- 1 丸印部を押しながら、矢印方向へスライドしてふたを外します。



- 2 乾電池の $\oplus$ $\ominus$ 極性を間違えないように、入れます。



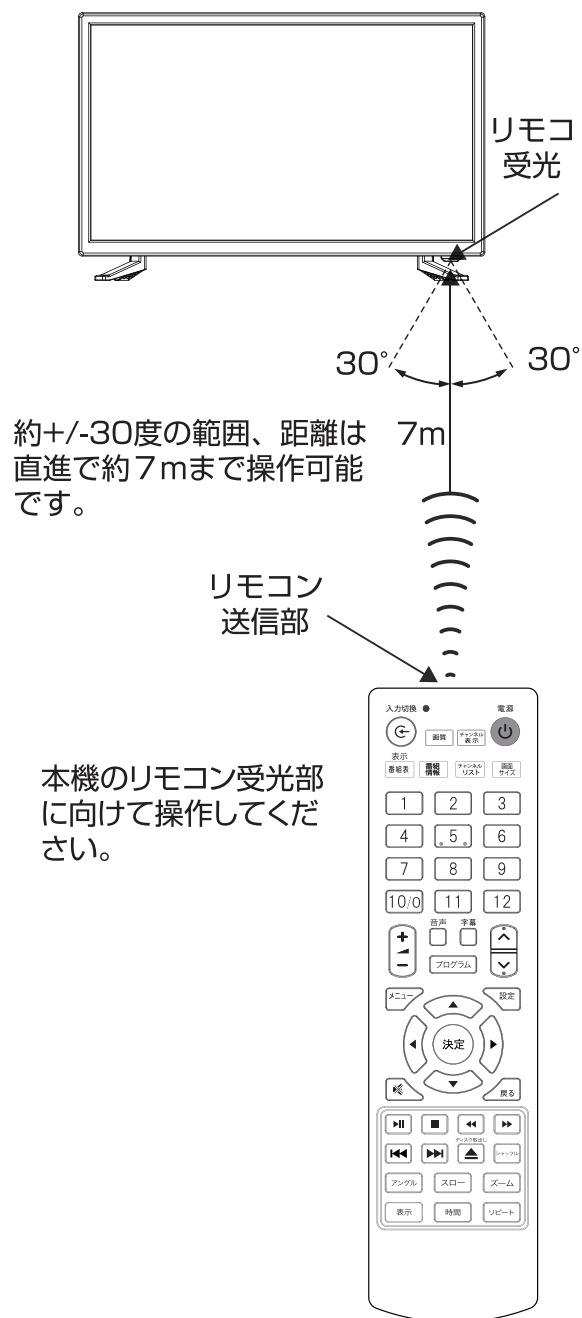
- 3 電池ふたを元の位置に取り付けます。



ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しに電池に交換してください。
- 銘柄や容量の違う乾電池や新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

リモコンの操作のしかた



使う前の準備

お知らせ

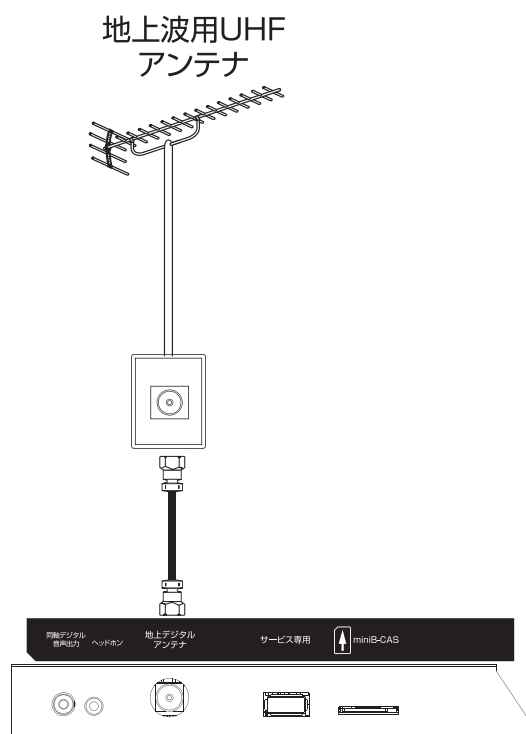
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池に交換してください。

使う前の準備 (つづき)

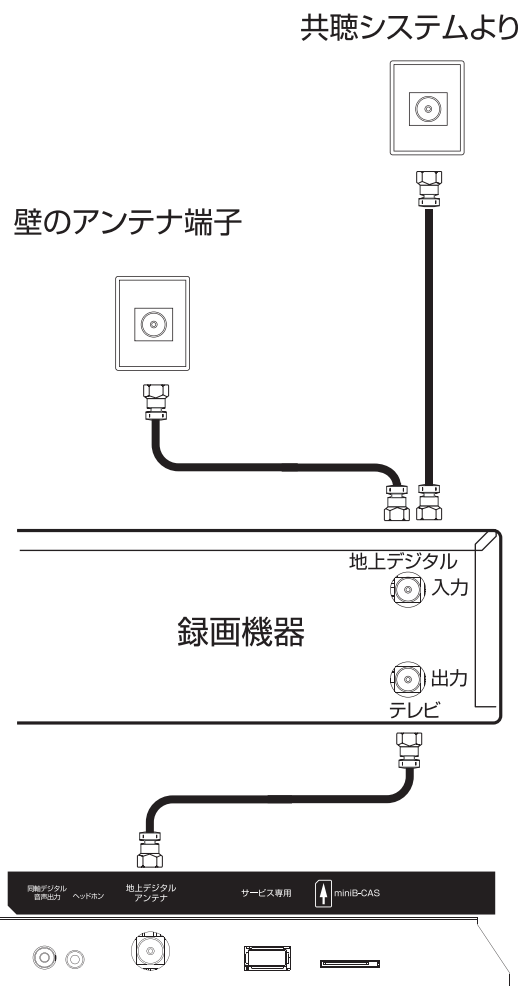
ご注意

- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブルテレビ会社の送信方式により接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)などは本製品に付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。

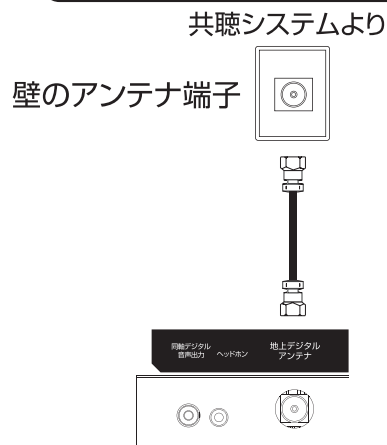
個別のアンテナの場合



録画機器を経由する場合



共聴アンテナの場合



お知らせ

- 天候などの影響により受信信号レベルが変動します。アンテナレベルが50以上になるように調整してください。
- アンテナレベルが不足なときはブースターなどで増幅してください。
- ケーブルテレビで受信しているときは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 特定のチャンネルが受信できなかったり受信状態が悪いときには、お買い求めいただいたアンテナの製造元や販売店にご相談ください。

使う前の準備 (つづき)

miniB-CAS カードを入れる

- miniB-CAS(以下B-CAS)カードは、地上波放送をご覧になるために、付属のB-CASカードを本機に差し込みます。



ご注意

- B-CASカードパッケージを開封すると「B-CASカード使用許諾契約約款」に同意されたとみなされます。開封前に裏面の使用許諾契約約款を必ずお読みください。
- B-CASカードは常にB-CASカードスロットに差ししておく必要があります。
- B-CASカードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損などによるB-CASカードの再発行は有料になります。
- B-CASカードの金色の金属部分には触れないでください。
- B-CASカードの抜き差しは、必要な場合を除き行わないでください。

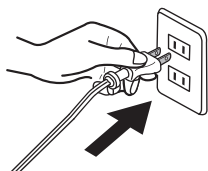
- 1 本機の電源を切ります。
- 2 同梱の「B-CASカード使用許諾契約約款」の内容を読み、承諾していただいた上で、台紙からB-CASカードをはがします。
- 3 右図のように、B-CAS カードをカチッと音がするまで挿入します。(B-CAS カードを押すことにより、外すことができます)

お知らせ

- B-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでお願いいたします。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されているものです。本機を廃棄なさる場合は同社にご返却ください。
- B-CASカードのID番号は設定メニューで確認できます。

電源を入れる

本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。



⚠ ご注意

- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



使う前の準備

はじめての設定

⚠️ ご注意

- B-CASカードが正しく挿入されていないと設定できません。B-CASカードを挿入してください。
- アンテナが接続されているか確認してください。

初めて電源を入れたときは設定が必要です。メニューに従い、本機を設定します。

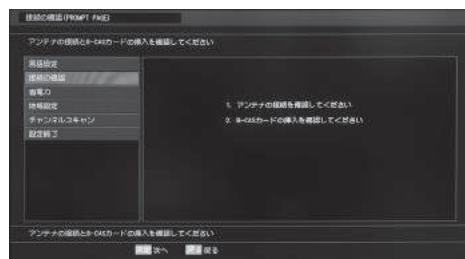
- 1 電源をオンにします。
リモコンの  または本機右側面にある、電源ボタンを押します。
本機前面の電源ランプが青色に点灯します。

- 2 「言語設定」画面が表示されます。



◀▶ で画面上に表示される文字の言語、日本語または、English (英語) を選択し、
(決定) ボタンを押し次へ進みます。

- 3 アンテナ接続確認とB-CASカード確認の画面が表示されます。



アンテナ接続、B-CASカードの確認後、
(決定) ボタンを押し次へ進みます。

- 4 省電力設定画面が表示されます。



◀▶ で「オフ」、「低」、「中」、「高」を選択し、
(決定) ボタンを押し次へ進みます。

- 5 地域設定画面が表示されます。



◀▶ お住まいの都道府県を選択し、
(決定) ボタンを押し次へ進みます。

- 6 「チャンネルスキャン」画面が表示されます。



▲▼と◀▶で項目ごとにスキャンの条件を指定します。

- スキャン種別は、「初期スキャン」を選択します。
- 対象周波数は、通常、「UHF」を選択します。ケーブルテレビ(CATV)等で、地上デジタル放送が受信できない場合は、「全周波数」を選択することで、受信できることがあります。詳しくはCATV会社にご確認ください。
- 受信地域は、4で選択した都道府県が表示されます。

(決定) ボタンを押し次へ進みます。

- 7 地上デジタルチャンネルの初期スキャンが始まります。

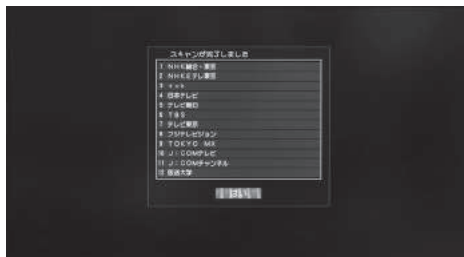


チャンネルスキャンは、しばらく時間がかかります。終了するまでお待ちください。

次ページにつづく

はじめての設定 (つづき)

- 8** スキャンが終了すると、受信可能な放送局が表示されます。



画面に表示された放送局がリモコンの番号に登録されています。
決定 ボタンを押し次へ進みます。

- 9** セットアップされた内容が表示されます。



以上で「はじめての設定」は完了です
決定 を押し終了します。

受信レベルの確認とアンテナの調整

- 「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できないときは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向を調整してください。

受信レベルの確認

- 1** リモコンの **メニュー** を押し、「設置設定」、**▲▼** で「受信レベル」を選び、**決定** を押します。「受信レベル」が表示されます。



- 2** **◀▶** お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている受信周波数を **◀▶** で選びます。
 ●アンテナレベルが50以上になっているか確認します。

アンテナの調整

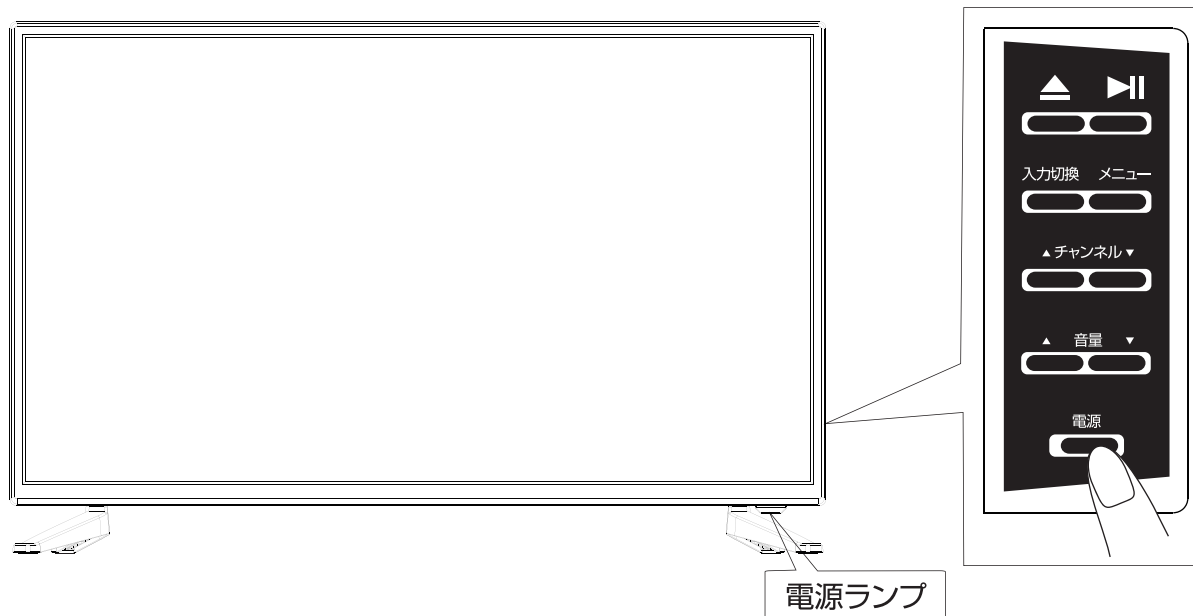
アンテナレベルが不足している場合は、アンテナ信号が弱い可能性があります。下記内容をご確認ください。またアンテナ調整は高所での作業により危険をともないます。販売店にご相談ください。

- 老朽化や劣化などによってアンテナやアンテナ線が使用できない状態になっていないか、確認してください。
- アンテナの向きを確認してください。
- テレビに接続するアンテナ線のF型コネクタの芯線が折れていたり、曲がっていたり、短くないか、確認してください。
 ※ワンタッチコネクタを使用している場合は接触不良が発生しやすいため、F型コネクタの使用を推奨します。
- ブースターを使用している場合、ブースターに電源が入っているか確認してください。
- 分配器(混合器、分岐器など)を使用している場合、接続経路に誤りがないか、接続状態が適切か、確認してください。
 ※アンテナからテレビまでの途中にレコーダーなどが接続されていると、信号の減衰によってアンテナ信号が弱まる場合があります。
- 送信所や中継局の近くなどで、アンテナレベルの数値が大きいかかわらず、ブロックノイズや映像の乱れが生じる場合は、アンテナ信号が強い可能性があります。必要に応じて減衰器(アッテネーター)を接続し、受信レベルを下げてください。

テレビを見る

電源の入れかた

リモコンの  または本機右側面にある、電源ボタンを押します。
本機前面の電源ランプが青色に点灯します。
約5秒後に、前回見ていたチャンネルまたは外部入力の画面が表示されます。

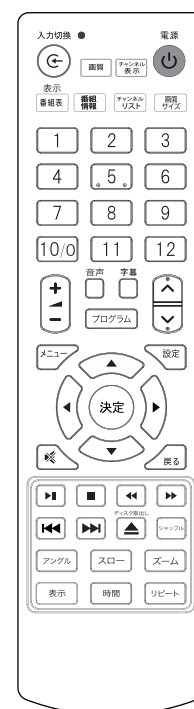


チャンネルの選びかた

数字 **①** ～ **⑫**、チャンネル+/-、または、チャンネル番号を入力してチャンネルを選びます。チャンネル+/-は、押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。

音量調節のしかた

音量+/-で音量の調節ができます。



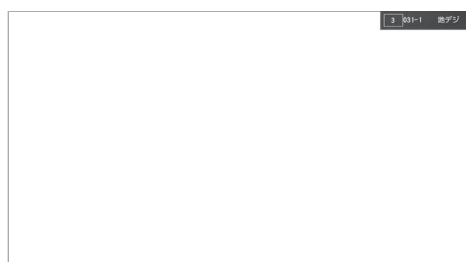
デジタル放送の便利な機能

画面表示を見る

チャンネル表示を押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが数秒間表示されます。



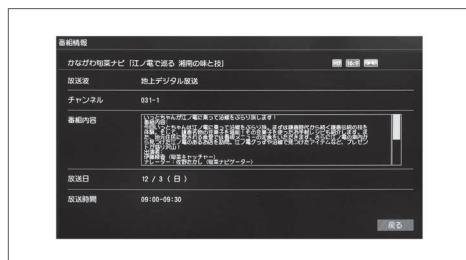
その後、画面右上部に、リモコンチャンネルボタン番号と3桁チャンネル番号のみが表示されます。



もう一度 **チャンネル表示**を押すと、画面表示は消えます。

番組情報を見る

番組情報を押します。



番組情報画面から戻るには **戻る**を押します。

音声を切り換える

音声を押すと、音声切換画面が表示されます。



▲▼で音声を並び **決定**を押します。

- 音声表示は受信している放送によって異なります。
- 切り換える音声がない場合は「切り換えられる音声がありません」と表示されます。

字幕を表示する

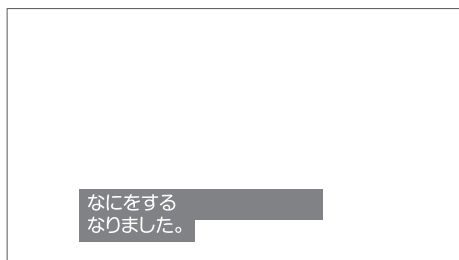
字幕のついた番組を視聴しているときは、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

字幕を押すと、字幕の選択画面が表示されます。



▲▼で言語を選び **決定**を押します。

字幕のついた番組がある場、画面下側に字幕が表示されます。



- 字幕放送を受信時のみ字幕は表示されます。
- 字幕が映像自体に表示されている場合は、字幕切換を「オフ」に設定しても字幕が表示されます。

ご注意

- 字幕の表示が、放送信号の処理速度によって、多少遅れて表示されたり早く消えたりすることがありますが、故障ではありません。

デジタル放送の便利な機能 (つづき)

番組表を表示する

デジタル放送は、放送局から送られてくる情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。7日先までの放送予定を見ることができます。

放送視聴中に **番組表** を押します。
番組表が表示されます。(例)

地上デジタル放送

11/26 (日)

11/27 (月)

11/28 (火)

11/29 (水)

11/30 (木)

12/01 (金)

12/02 (土)

12/03 (日)

031-1

3

031-2

4

041

5

051

6

061

7

071

8

081

お買物情報

テレビ51

日テレ1

テレビ朝日

TBS1

テレビ東京1

フジテレビ

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

0

30

55

お知らせ

- 「はじめの設定」直後は、まだ番組情報が完全に取得できていないため、すべてのチャンネル番組表が表示されない場合があります。「番組表が取得できていません」の表示がある所で、**決定** ボタンを押すことで番組情報を取得できます。
- 電源プラグが接続されている場合は、自動的に番組情報を取得するため、この操作は不要です。
- 本機はデータ放送には対応していません。

チャンネルリストを表示する

チャンネル登録された放送局のリストが表示されます。

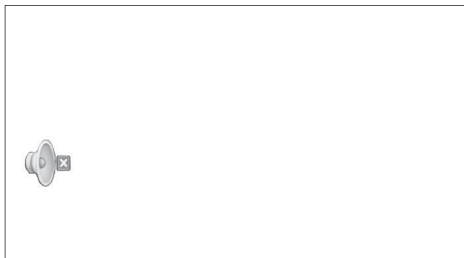
チャンネルリスト ボタンを押します。

▲▼ボタンでチャンネルを選び **決定** ボタンを押します。
選んだ放送局が表示されます。

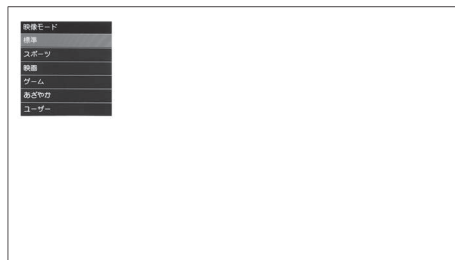
本機の便利な機能

音を消したいとき

を押します。画面左下に「スピーカーX」アイコンが表示され消音になります。もう一度を押すと、音声は元に戻ります。音量+/-を押しても、音声は元に戻ります。



映像モードを設定する



番組により、お好みの映像に設定します。

を押します。

▲▼で選び を押します。

入力を切り換える

入力を切換えるときに使います。

を押します。



▲▼で入力を選び を押します。

画面サイズを変える

視聴に適した画面サイズを選ぶことができます。

を押します。



画面を見ながら、▲▼で適した画面サイズを選びます。を押すことで画面サイズが設定されます。

テレビを見る

ご注意

を押さなくても、数秒間操作がない場合、自動的に設定されます。設定変更の際は、設定を再確認してください。

メニュー画面の操作方法

- メニュー画面から本機の各種設定を変更
や確認をすることができます。

メニュー ボタンを押します。
「設置設定」のメニュー画面が表示されます。

設置設定メニュー



受信レベル

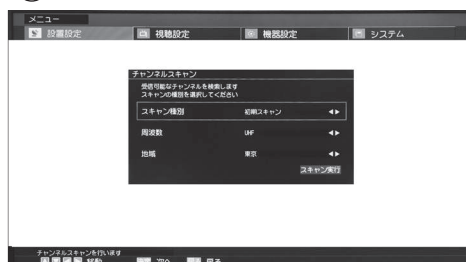
▲▼で「受信レベル」を選択し、決定 を押します。



戻る を押し、戻ります。

チャンネルスキャン

受信可能なチャンネルを検索します。
▲▼で「チャンネルスキャン」を選択し、
決定 を押します。



▲▼と◀▶で項目ごとにスキャンの条件を
指定します。

- スキャン種別は、「初期スキャン」を選択し
ます。
- 対象周波数は、通常、「UHF」を選択します。
ケーブルテレビ(CATV)等で、地上デジタル
放送が受信できない場合は、「全周波数」を
選択することで、受信できることがあります。
詳しくはCATV会社にご確認ください。
- 受信地域は、「はじめての設定」で選択した
都道府県が表示されます。

お知らせ

- 戻る を押すと、ひとつ前のメニュー表示に戻り
ます。
- 項目によってで数値を変化させるものがあり
ます。

リモコン設定

- 自動設定された番号を変更するときに、
手動で設定し直すことができます。
- 地域により地上デジタルのチャンネル番号
が変更になる場合があります。その地域に
お住まいの方は、チャンネルの再スキャン
を行ってください。

1 ▲▼で「地上デジタル放送リモコン設定」を
選択し、決定 を押します。



- 2 ▲▼ で放送局を選びます。
リモコンのチャンネル番号割当ての変更は、
リモコンの数字ボタン [1] ~ [12] を押します。
- 3 特定の放送局をスキップするには、◀▶ で
「受信」を「スキップ」に変更します。
- 4 決定 を押すことで、リモコンのチャンネル番号
割り当てが設定されます。

メニュー画面の操作方法 (つづき)

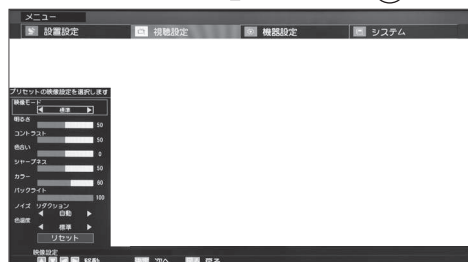
◀▶で「視聴設定」を選びます。

視聴設定メニュー



映像設定

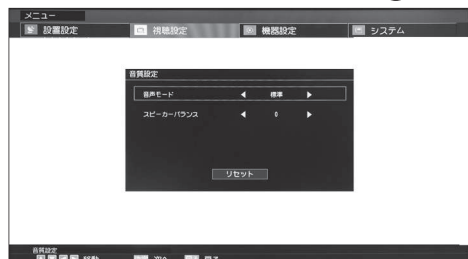
▲▼で「映像設定」を選択し、(決定)を押します。



▲▼で項目を選択し、◀▶でお好みの映像に設定します。

音質設定

▲▼で「音質設定」を選択し、(決定)を押します。



▲▼で項目を選択し、◀▶でお好みの音声に設定します。

PC接続設定

▲▼で「PC接続設定」を選択し、(決定)を押します。



▲▼で項目を選択し、◀▶で適切な設定にします。

※PC入力に切り換えた時のみ変更ができます。

省電力設定

▲▼で「省電力設定」を選択し、(決定)を押します。



▲▼で省電力モードを選び、(決定)を押します。

字幕表示設定

▲▼で「字幕表示設定」を選択し、(決定)を押します。



▲▼で字幕言語を選び、(決定)を押します。

番組で字幕が提供されている場合に、字幕の選択を切り替えることができます。

メニュー画面の操作方法 (つづき)

◀▶で「機器設定」を選びます。

機器設定メニュー



同軸デジタル音声出力設定

▲▼で「同軸ケーブル音声出力設定」を選択し、(決定)を押します。



◀▶で接続機器に適した出力波形を選択し、(決定)を押します。

パスワードを変更する

※「パスワードを変更する」は、本機で使用しません。

オフタイマー設定

▲▼で「オフタイマー」を選択し、(決定)を押します。



●「オフタイマー」:

▲▼でオフになる時間、30、60、120、180分を選び、(決定)を押すことでオフタイマーが設定されます。設定を解除するには、「オフ」を選び (決定)を押します。

●「無操作時」:

▲▼で「はい」を選び、(決定)を押すことで、無操作が4時間続くと自動的にオフになります。設定を解除するには、「いいえ」を選び (決定)を押します。

●「無信号時」:

▲▼で「はい」を選び、(決定)を押すことで、無信号が10分間続くと自動的にオフになります。設定を解除するには、「いいえ」を選び (決定)を押します。

メニュー画面の操作方法 (つづき)

◀▶で「システム」を選びます。

システムメニュー



言語設定

▲▼で「言語」を選択し、(決定)を押します。



▲▼でメニュー言語を選び、(決定)を押します。

設定初期化

▲▼で「設定初期化」を選択し、(決定)を押します。



設定を初期化するには、◀▶で「はい」を選択し、(決定)を押します。

⚠️ ご注意

- 設定を初期化した場合、設定はお買い上げ時の状態になり、テレビを視聴するには、「はじめての設定」 P.14 の設定が必要になります。
- 本機を廃棄処分する場合や他人に譲渡したりする場合のみ、「設定初期化」を実行することをお勧めします。

システム情報

▲▼で「システム情報」を選択し、(決定)を押します。



戻るを押し、戻ります。

DVDの再生

1. 電源を入れる

本体に電源を接続し、電源ボタンを押してください。

2. DVDへの切り替え

本体またはリモコンの「入力切換」ボタンを押す→本体またはリモコン「▲▼」ボタンで「DVD」を選択→本体またはリモコンの「決定」ボタンを押す、の順に操作するとDVD画面に切り換わります。

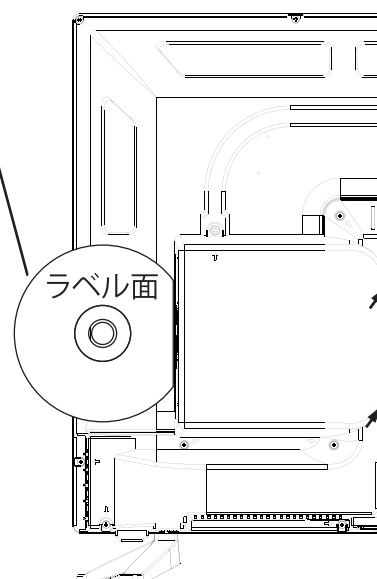
3. ディスクの出し入れ

ディスクの読み取り面（何も印刷されていない面）が前向きになるようにして、ディスクを本体右側面のディスクスロットに挿入します。自動的に読み込みが始まります。取り出すには、リモコンのディスク取出しボタンを押すか、本体の取出しボタンを長押し（2～3秒）してください。

読み取り面が前、ラベル面が後ろに向くようにして挿入してください。
途中まで入ると自動的に引き込まれていきます。

※本機はディスクトレイ（引き出し部分）がないスロットイン方式となっています。
ディスクの挿入は、電源を入れてDVD画面へ切り換えてから行ってください。
電源が入っていない状態、またはDVD画面以外ときは、ディスクの挿入や取出しはできません。

※ディスクの強引な挿入や、ディスクの向きを間違えて挿入すると、本機やディスク破損の原因となりますのでご注意ください。



4. 再生の開始

DVDのタイトル画面が表示されましたら、本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶IIを押してください。再生が始まります。

5. 一時停止

再生中に▶II ボタンを押すと再生を一時停止し、静止画像が表示されます。もう一度押すと、再生を再開します。

6. 停止

再生中に■ ボタンを押すと再生が停止し、DVD入力画面に「再生ボタンで続きスタート」と表示されます。この状態で▶II ボタンを押すと、停止した場面の続きから再生が始まり、もう一度■ ボタンを押すと、完全に再生が停止されます。

DVDの再生

7. 音量の調節

再生中、リモコンまたは本体の音量＋ボタンを押すと音量が大に、音量－ボタンを押すと音量が小になります。

8. 情報を見る

再生中にリモコンの表示ボタンを押すと、画面上に再生中のタイトル、チャプターの経過時間や残り時間など、現在再生中のディスクの情報が表示されます。ボタンを押すたびに表示内容が変わり、数回押すと表示は消えます。

9. 場面のスキップ

再生中にリモコンの ►► または ◀◀ スキップボタンを押すと1つ次または前のチャプターに移動します。

10. 早送り・早戻し

再生中にリモコンの ►► 早送りまたは ◀◀ 早戻しボタンを押すと、早送りまたは早戻し再生をすることができます。再生速度はボタンを押すごとに変わ



11. 場面を選択して再生

リモコンの戻るボタンを押すと各メニュー画面に入り、DVDの内容が画面に表示され、再生するチャプターや字幕などを簡単に選択することができます。(ディスクによってはメニュー画面がない場合もあります。)

12. 音声切換

再生中にリモコンの音声ボタンを押すと、音声を切換えることができます。音声ボタンを押すたびに、音声の言語が切換わります。切換可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から音声切換を行わなければならないものもあります。

DVDの再生

13. 字幕切り替え

再生中にリモコンの字幕ボタンを押すと、字幕を切り替えることができます。字幕ボタンを押すたびに、字幕の言語が切り替わります。切り替え可能な字幕の数と再生している字幕の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から字幕切り替えを行わなければならないものもあります。

※字幕データが収録されていないディスクでは、この機能は使えません。

14. ズーム切り替え

再生中にリモコンのズームボタンを押すと、画面の表示倍率や比率を変えることができます。ズームボタンを押すたびに、X2→X3→X4→1/2→1/3→1/4の順に画面の倍率が変わります。

15. リピート再生

再生中にリモコンのリピートボタンを押すと、リピート再生を行うことができます。押す回数によって、チャプターのリピート→タイトルのリピート→ディスク全体のリピート→リピートオフ（通常再生）の順に切り替わります。

16. シャッフル再生

再生中にリモコンのシャッフルボタンを押すと、画面に「シャッフル」の文字が表示されます。シャッフル機能がオンになり、チャプターを無作為な順番で再生します。もう一度シャッフルボタンを押すと通常再生に戻ります。

17. スロー再生

再生中にリモコンのスローボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。スローボタンを押すたびに、1/2→1/4→1/8→1/16→通常再生の順で再生速度が切替わります。

DVDの再生

18. 消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと、音声のみを消すことができます。もう一度消音ボタンを押すと再び音声が出ます。

19. プログラム再生

DVDの場合

- ・DVD再生中にリモコンのプログラムボタンを押します。テレビ画面にプログラム再生の設定画面が表示されます。
- ・再生したい順番にタイトル番号、チャプター番号を、数字キー、方向ボタンを使用して設定します。設定後、テレビ画面に表示されている「スタート」にカーソルを合わせて決定ボタンを押すとプログラム再生が始まります。
- ・プログラム再生を解除するにはプログラム設定の画面で「停止」の項目を選択し、決定ボタンを押します。



CDの場合

- ・CD再生中にリモコンのプログラムボタンを押します。テレビ画面にプログラム再生の設定画面が表示されます。
- ・再生したい順番に曲番号を、数字キー、方向ボタンを使用して設定します。設定後、テレビ画面に表示されている「スタート」にカーソルを合わせて決定ボタンを押すとプログラム再生が始まります。
- ・プログラム再生を解除するにはプログラム設定の画面で「停止」の項目を選択し、決定ボタンを押します。



CDの再生

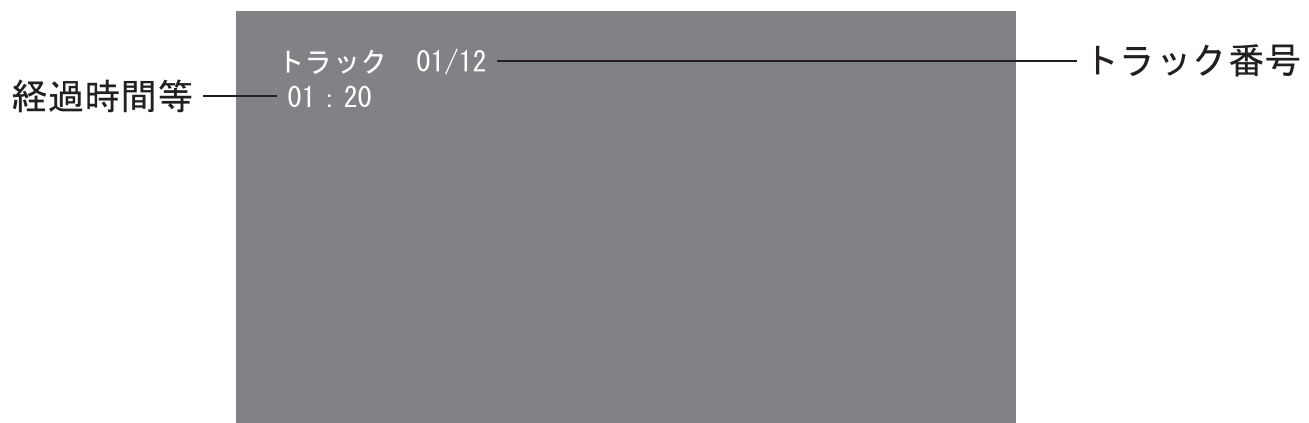
本機では音楽CDを再生することもできます。音楽CDをディスクスロットに挿入すると自動的に再生を開始します。音楽CDの再生ではDVDの再生と同じボタン操作で以下の操作を行うことができます。

- 再生 ●停止 ●一時停止 ●前後スキップ ●早送り ●早戻し
- リピート再生 ●A-Bリピート再生 ●ランダム再生 ●消音
- 音量＋－

※自作のCD、DVDは再生できない場合があります。

CD再生時の画面表示

音楽CDの再生中は、トラック（収録曲）の再生時間等の情報が画面に表示されます。表示ボタンを押すごとに、シングル再生時間→シングル残り時間→トータル再生時間→トータル残り時間、の順に表示が切替ります。

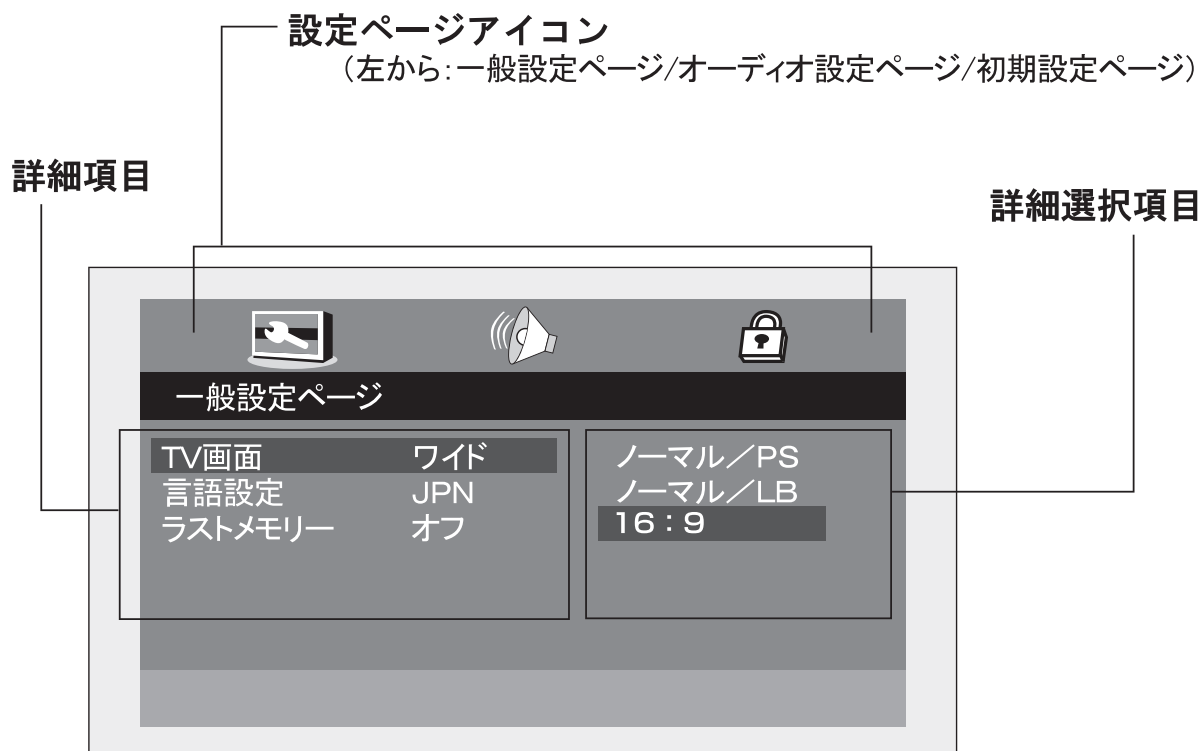


- 数字ボタンを押して再生したいトラックを直接選択することも可能です。
- 音声ボタンを押すと、ステレオ設定などを切替えることができます。音声ボタンを押すたびに、左モノラル→右モノラル→ミックスモノラル→ステレオ の順に循環して切替わります。

DVD機能設定

本機では、DVD機能使用時の画質や音声など、各種機能を設定することができます。必要に応じて変更してください。

DVD機能設定ページ



DVD機能設定の方法

1. リモコンの設定ボタンを押すとDVD機能設定画面が表示されます。
2. 設定ページ→詳細項目→詳細選択項目の順に選択、決定して行きます。
3. リモコンの方向キーを押して、設定を変更したいページや項目を選択をし、決定ボタンを押して決定します。
4. 設定ボタンを押して、設定を終了します。

※入力切替がDVD時のみ、この設定が行えます。TVなど、他の入力の際は設定ボタンを押してもこの画面は出ません。

DVD機能設定

設定項目は下記の通りです。

設定ページ	詳細項目
一般設定ページ	TV画面 言語設定 ラストメモリー
オーディオ設定ページ	ダウンミックス
初期設定ページ	テレビタイプ 音声設定 字幕設定 ディスクメニュー ペアレンタル パスワード変更 デフォルト

一般設定

■ TV画面

- 1.標準テレビ（4：3）/PS（パンスキャン）
- 2.標準テレビ（4：3）/LB（レターボックス）
- 3.ワイドテレビ（16：9）

■ 言語設定（設定、操作時に使用する言語です。）

- 1.英語
- 2.日本語

■ ラストメモリー（電源を切る直前の状態を保存し、次に再生する時に 前回停止した直前の映像から再開する機能です。）

- 1.オン
- 2.オフ

※ラストメモリー（レジューム）機能は、ディスクによって制限があり、
正常に動作しないことがあります。

※ラストメモリー（レジューム）機能は、DVD-Videoのみ有効です。
録画されたディスクには対応していません。

DVD機能設定

オーディオ設定（ステレオ以外の選択はできません。）

■ダウンミックス

- 1.ステレオ

初期設定（ディスクに収録されていない言語は設定できません。）

■テレビタイプ

1. P A L T V
2. マルチ
3. N T S C T V

■音声設定（再生時の音声の設定）

- 1.英語
- 2.日本語

■字幕設定

- 1.英語
- 2.日本語
- 3.オフ

■ディスクメニュー

- 1.英語
- 2.日本語

■ペアレンタル（視聴制限）※初期パスワード「0000」

- | | |
|----------------|------|
| 1. レベル 1 | 制限 大 |
| 2. レベル 2 | ↑ |
| 3. レベル 3 | |
| 4. レベル 4 | ↓ |
| 5. レベル 5 | |
| 6. レベル 6 | 制限 小 |
| 7. レベル 7 | 無制限 |
| 8. レベル 8（アダルト） | |

■パスワード変更

※初期パスワードは「0000」になります。

■デフォルト

実行（D V D の設定を工場出荷時の状態に戻します）

ディスク再生

※全ての機器との接続動作を保証するものではありません。

外部機器と接続のしかた

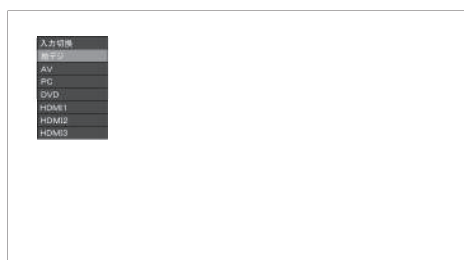
BDプレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などのAV機器を接続して、本機で楽しむことができます。画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

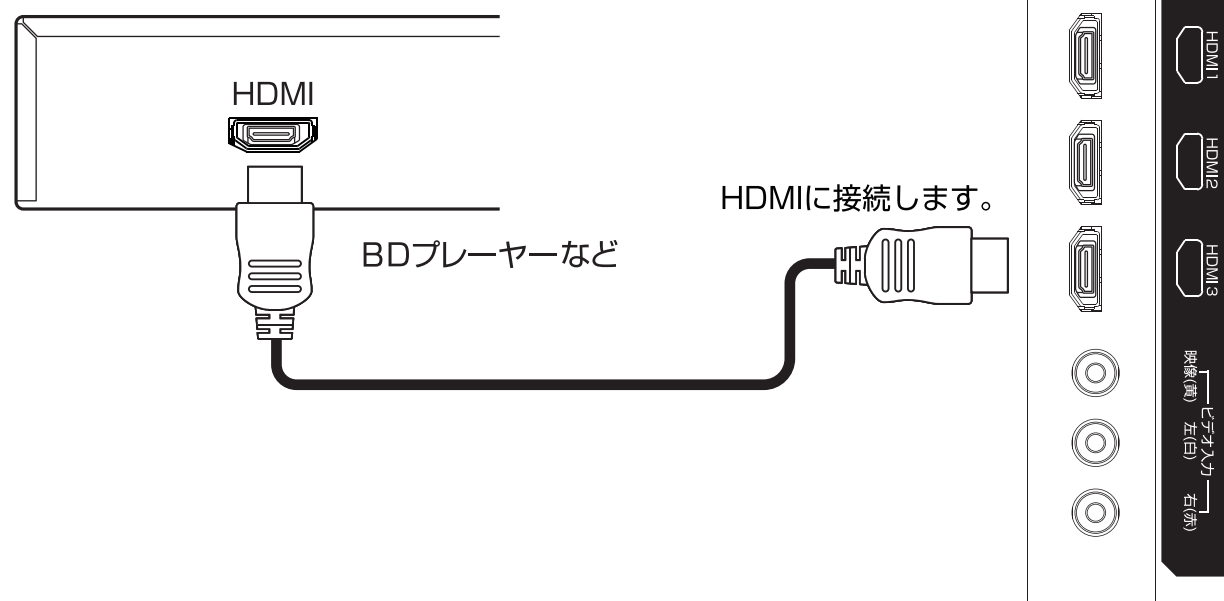
接続した機器の映像を見るには

入力切替  を押します。



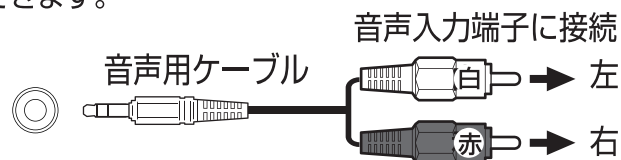
▲▼ で入力信号源を選び、 を押します。

HDMI 端子を使う



ヘッドホン音声出力端子を使う

ヘッドホン出力端子 (Φ3.5mm)を使って、アナログ音声入力端子付のオーディオ機器に接続することができます。



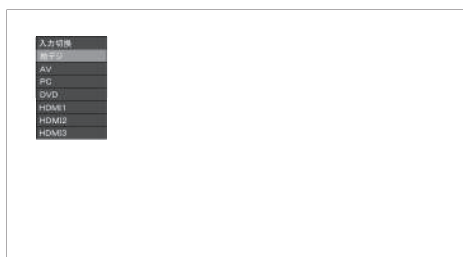
※全ての機器との接続動作を保証するものではありません。

外部機器と接続のしかた (つづき)

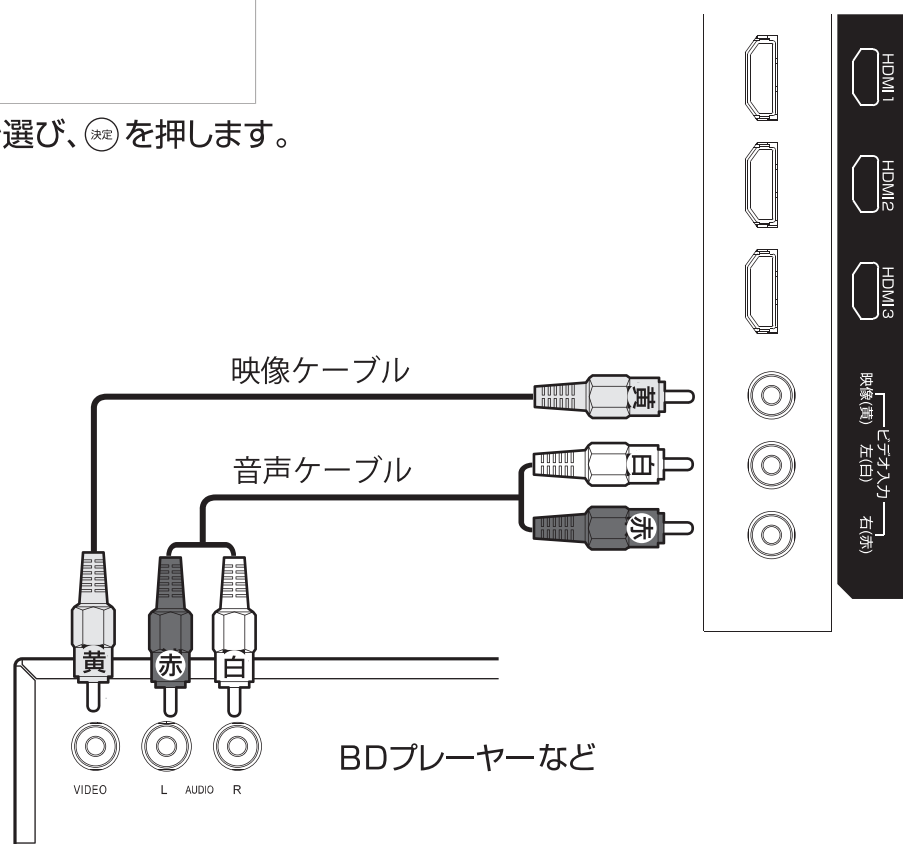
映像端子を使う

接続した機器の映像を見るには

入力切替  を押します。



▲▼で「AV」を選び、 を押します。



お知らせ

- 本機と外部機器を接続するときに、入出力端子を間違えて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 映像と音声端子がそれぞれ正しく接続されていることを確認してください。
- モノラル機器と接続するときは、音声端子をL(左)、R(右)のどちらに接続するのかを、接続する機器に付属の取扱説明書を確認してください。

その他

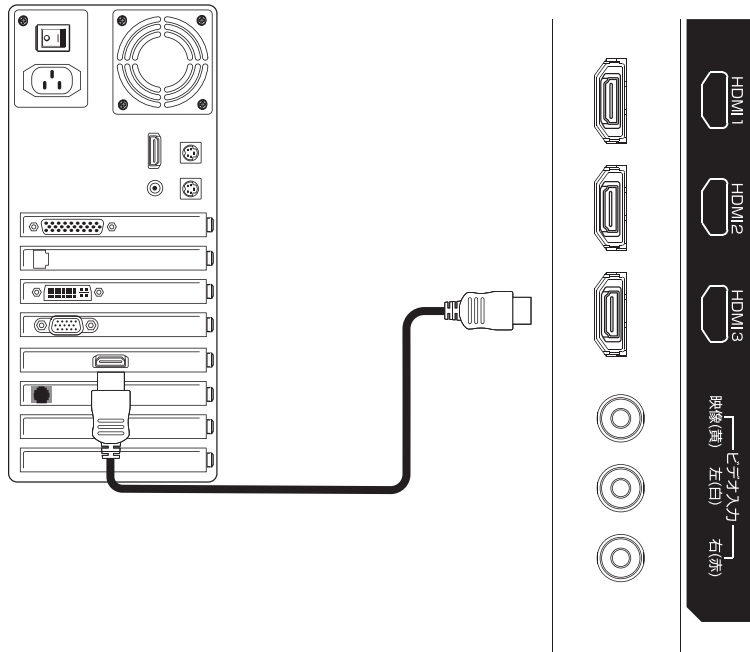
※全ての機器との接続動作を保証するものではありません。

外部機器と接続のしかた (つづき)

パソコンを接続する

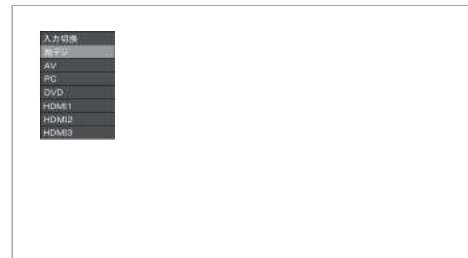
本機にパソコンを接続して、パソコンのモニターとして使用することができます。パソコン側にHDMI出力端子が付いている場合は、HDMIケーブルで接続できます。VGA出力端子が付いている場合は、VGAケーブルで接続できます。また、VGA接続の場合は、音声ケーブルの接続も必要になります。

HDMIケーブルで接続する



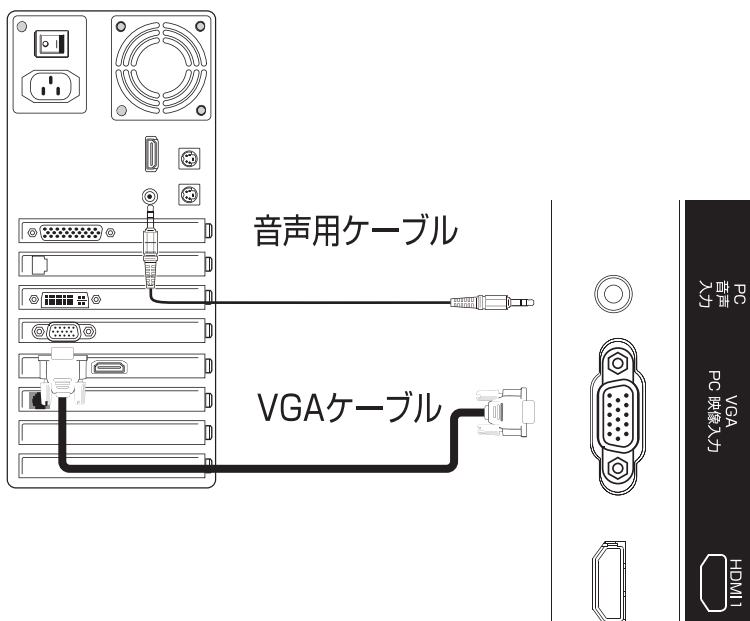
接続した機器の映像を見るには

入力切替 を押します。



▲▼で接続した「HDMI」の番号を選び、を押します。

VGAケーブルで接続する



接続した機器の映像を見るには

入力切替 を押します。



▲▼で「PC」を選び、を押します。

ご注意

- 接続するパソコンに付属の取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様を確認してください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

その他

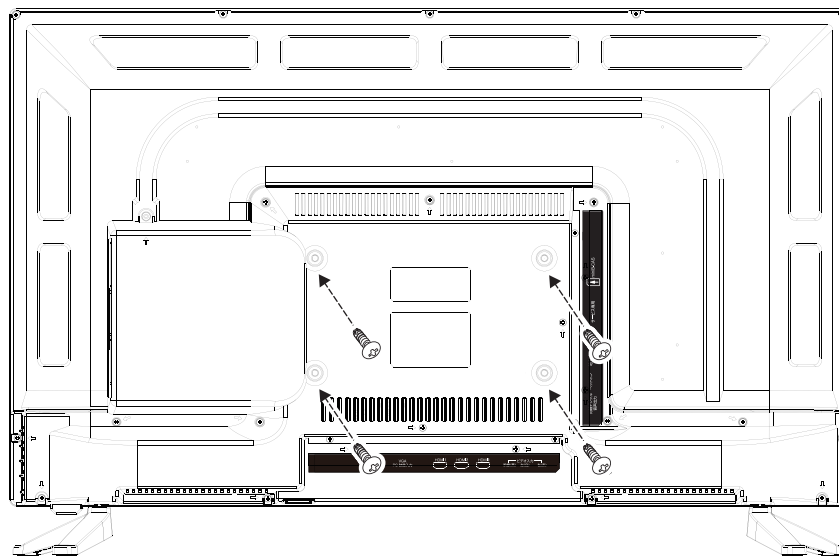
壁にかけてつかうとき

本機は別売の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

⚠️ ご注意

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 壁への取り付けが不完全または誤った据え付け方をすると、テレビが落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。
- 設置方法の問題で生じた破損や故障について当社は一切責任を負いません。

背面



取り付けネジM6×10×4本

お知らせ

- VESA 規格に準じた金具をご使用できます。
- 本機の重量は約 4.2kgです。本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください。
- 掛け金具取り付け用ネジ穴寸法は、200mm×100mm です。
- 取り付けネジのサイズは、M6×10mm(4本)をご使用ください。
- ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調整してください。
- 下記の条件に合った金具をご使用ください。
ネジ穴寸法:200mm×100mm(VESA規格)
耐荷重:4.2kg以上
取り付けネジ: M6×10mm×4本

⚠️ ご注意

- 長いネジを使用すると、内部の部品にダメージを与え製品を損傷します。
- 取り付けの際は、液晶パネルを傷つけないよう取扱いに注意してください。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下表のとおりです。
引越しや新しく放送局が開局された場合などに、チャンネルを割り当て直したいときは、初期設定メニューを表示し、「チャンネル設定」の「地上デジタル自動設定」で「地域選択」と「初期スキャン」または「再スキャン」を行なってください。

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）	
チャンネル名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・室蘭
	2	NHKE テレ札幌	2	NHKE テレ函館	2	NHKE テレ旭川	2	NHKE テレ帯広	2	NHKE テレ釧路	2	NHKE テレ北見	2	NHKE テレ室蘭
	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 旭川	1	HBC 帯広	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 室蘭
	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 旭川	5	STV 帯広	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 室蘭
	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 旭川	6	HTB 帯広	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 室蘭
	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 旭川	8	UHB 帯広	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 室蘭
	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 旭川	7	TVH 帯広	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
チャンネル名	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・盛岡	1	NHK 総合・福島	3	NHK 総合・青森	1	NHK 総合・東京
	2	NHKE テレ仙台	2	NHKE テレ秋田	2	NHKE テレ山形	2	NHKE テレ盛岡	2	NHKE テレ福島	2	NHKE テレ青森	2	NHKE テレ東京
	1	TBC テレビ	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	6	IBC テレビ	8	福島テレビ	1	RAB 青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT 秋田テレビ	5	YTS 山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV 青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB 福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB 東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	TOKYO MX

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
チャンネル名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・前橋	1	NHK 総合・水戸	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・宇都宮	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・長野
	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	abn 長野朝日放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC 信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	tvk	3	群馬テレビ			3	チバテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレ玉		

お住まいの地域	新潟		山梨		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
チャンネル名	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・京都	1	NHK 総合・神戸	1	NHK 総合・和歌山	1	NHK 総合・奈良
	2	NHKE テレ新潟	2	NHKE テレ甲府	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪
	6	BSN	4	YBS 山梨放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送
	8	NST	6	UTY	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ
	4	TeNY テレビ新潟			8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	5	新潟テレビ21			10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
					7	テレビ大阪	5	KBS 京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
チャンネル名	1	NHK 総合・大津	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・松江	3	NHK 総合・鳥取	1	NHK 総合・山口
	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ広島	2	NHKE テレ岡山	2	NHKE テレ高松	2	NHKE テレ松江	2	NHKE テレ鳥取	2	NHKE テレ山口
	4	MBS 毎日放送	3	RCC テレビ	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY 山口放送
	6	ABC テレビ	4	広島テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	3	tys テレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab 山口朝日
	10	読売テレビ	8	TSS	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	3	BBC びわ湖放送			8	OHK テレビ	8	OHK テレビ						

その他

地域別チャンネル表 (つづき)

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
チャンネル名	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津	3	NHK 総合・岐阜	1	NHK 総合・金沢	1	NHK 総合・静岡	1	NHK 総合・福井	3	NHK 総合・富山
	2	NHKE テレ名古屋	2	NHKE テレ名古屋	2	NHKE テレ名古屋	2	NHKE テレ金沢	2	NHKE テレ静岡	2	NHKE テレ福井	2	NHKE テレ富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBC	1	KNB 北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT 富山テレビ
	6	メ〜テレ	6	メ〜テレ	6	メ〜テレ	6	MRO	4	だいいちテレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	ぎふチャン									

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・長崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHKE テレ松山	2	NHKE テレ徳島	2	NHKE テレ高知	3	NHK 総合・北九州	2	NHKE テレ熊本	2	NHKE テレ長崎	2	NHKE テレ鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHKE テレ福岡	3	RKK 熊本放送	3	NBC 長崎放送	1	MBC 南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHKE テレ北九州	8	TKU テレビ熊本	8	KTN テレビ長崎	8	KTS 鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC 九州朝日放送	4	KKT くまもと県民	5	NCC 長崎文化放送	5	KKB 鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB 毎日放送	5	KAB 熊本朝日放送	4	NIB 長崎国際テレビ	4	KYT 鹿児島読売 TV
							5	FBS 福岡放送						
							7	TVQ 九州放送						
							8	TNC テレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・宮崎	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・那覇
	2	NHKE テレ宮崎	2	NHKE テレ大分	2	NHKE テレ佐賀	2	NHKE テレ沖縄
	6	MRT 宮崎放送	3	OBS 大分放送	3	STS サガテレビ	3	RBC テレビ
	3	UMK テレビ宮崎	4	TOS テレビ大分			5	QAB 琉球朝日放送
			5	OAB 大分朝日放送			8	沖縄テレビ (OTV)

● 一覧の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

その他

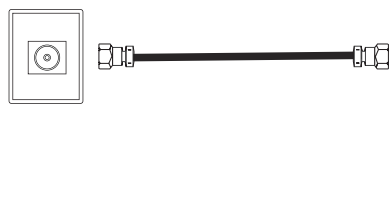
故障かな?と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

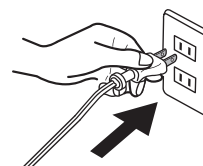
まず、ご確認ください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。

アンテナは正しく
つながっていますか？



電源プラグは正しく
つながっていますか？



こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点がある
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする
部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機全般

症 状	原因や対処の仕方
電源が入らない	○電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ → 電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	○リモコンを受光部に向けていますか？ ○お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？ → リモコン受光部に強い光を当てないでください。 ○乾電池が消耗していませんか？ → 新しい乾電池に交換してみてください。 ○乾電池の極性(+-)が逆になっていませんか？ → 正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	○オフタイマーを設定していませんか？ → オフタイマーの設定を確認してください。

音声

症 状	原因や対処の仕方
音が出ない	○音量が最小になっていませんか？ ○「消音」状態になっていませんか？ ○イヤホンが接続されていませんか？

故障かな?と思ったら (つづき)

映像

症 状	原因や対処の仕方
映像が出ない AV映像が出ない	○アンテナは正しくつながっていますか? → アンテナの接続を確認してください。 ○明るさは正しく調整されていますか? → 明るさの調整をなおしてください。 ○外部機器と正しく接続されていますか? → 外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	○電源プラグがコンセントから抜けていませんか? → 電源コードの接続を確認してください。 ○電源スイッチは入っていますか? → 電源スイッチを入れてください。 ○テレビモード以外の入力モードになっていませんか? → テレビモードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	○アンテナケーブルが正しく接続されていますか?
映像や音声が出なくなる、または時々出なくなる 映像が静止する、または時々静止する	○アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか? → アンテナを調整してください。 ○アンテナ線の劣化が考えられます。 ○着雪(アンテナ)、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が進んだり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	○アンテナケーブルが正しく接続されていますか? ○電波状態が悪いことが考えられます。
色合いが悪い、色が薄い	○色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか?
画面が暗い	○明るさは正しく調整されていますか? → 明るさの調整をなおしてください。
接続した機器の映像がでない	○外部機器は正しくつながっていますか? → 外部機器の接続と電源を確認してください。 ○入力切替は合っていますか? → リモコンまたは本体の入力切替ボタンで、入力を切り換えてください。

デジタル放送

症 状	原因や対処の仕方
地上デジタル放送が受信できない	○B-CASカードは正しく挿入されていますか? ○地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか?
引越したら、地上デジタル放送受が信できなくなった	○チャンネルスキャン P.22 をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	○お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

その他

故障かな?と思ったら (つづき)

ディスク再生

症 状	原因や対処の仕方
DVDレコーダーで記録したDVD-Rディスクが再生できない	○ビデオモードまたはCPRM形式で記録したDVD-Rディスクを本機で再生するには、ファイナライズ処理が必要です。 ○ディスク記録時の安定度・状況・環境により、再生できない場合があります。 ○録画されたDVDレコーダーとディスクと本機の相性により再生できない場合があります。 ○パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合もあります。
ディスクの読み取りができない	○ディスクが入っているか確認してください。 ○ディスクが裏表逆に入っていないか確認してください。 ○ディスクと機器の地域コードが違っていませんか。 ○ディスクのフォーマットが違っていませんか。 ○ディスクに傷または汚れはございませんか。ディスクを換えてください。
再生中に電源が落ちる	○2層式記録ディスク再生折り返し部分の仕様による場合があります。電源が落ちたチャプターの次のチャプターから再生できる場合がございますので、チャプター選択画面から指定して再生を続けてください。
再生中、一時的に映像が止まる	○再生しているディスクに傷や汚れがある可能性があります。本書「はじめに」記載のディスクの取り扱いをご参照ください。
CDが正しく再生されない CDの曲始め数秒が再生されない	○コピーコントロールCDの可能性がございます。弊社では再生保証を致しかねます。
選曲できない	○ディスクによっては、部分的に設定された再生順序を変更できない場合があります。
ディスクの再生ができない、音飛びがする、雑音がある、音が出ない、映像が正しく表示されない 等	○ディスクに傷や汚れはございませんか。 ○本機非対応の仕様のデータである可能性がございます。本書P. 43「製品仕様」対応ディスク／再生可能フォーマットをご参照ください。

製品仕様

本体		
型番		D32TV
受信機型サイズ		32 型
JAN		4573240653825
電源		AC 100V～50/60Hz
消費電力(スタンバイ)		55W(0.5W)
年間消費電力量(標準)		64.5kWh/年
区分名		DN
本体寸法	幅	732(732)mm
()はスタンド	高さ	477(434)mm
を含まない	奥行	212(89)mm
本体質量()はスタンドを含まない		約4.3kg (4.2kg)
壁掛け金具取付寸法		200X100mm (VESA規格)
液晶画面	画面寸法	幅 697.69mm X 高さ 392.26mm
	駆動方式	TFT液晶 アクティブマトリクス方式
	画素数	1366x768
	視野角	左右約178° / 上下約178°
	輝度	200cd/m ±10%
	コントラスト	2400:1
	応答速度	8.5 ms
受信チャンネル地上デジタル		UHF(13-62ch), CATV(C13-C63)
音声出力		10W×2
入力出力端子 HDMI		3 (HDMI Ver.1.4)
	ビデオ入力(映像音声)	1 (RCA ピン)
	同軸デジタル音声出力	1 (RCA ピン)
	ヘッドホン/音声出力端子	1 (Φ3.5mmステレオミニジャック)
	B-CASカードスロット	1 (miniB-CASカード)
	アンテナ入力	1 (F端子) 地上デジタル
	PC入力端子	ミニD-sub15ピンVGA
	PC 音声入力端子	1 (Φ3.5mmステレオミニジャック)
対応ディスク		DVD、DVD-R、DVD-RW、CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット		ビデオモード、VRモード(CPRM対応)、MPEG1、MPEG2、MPEG4、MP3、JPEG、WMA
使用環境条件		温度: 0℃～40℃ 相対湿度: 20%～80%(結露のないこと)
付属品		リモコンx1個、リモコン用単4形乾電池x2個、miniB-CASカードx1枚、スタンドx1組、スタンド固定ネジx4本、取扱説明書x1部
バックライト		直下型LED方式
オフタイマー		30分・60分・120分・180分
電源コード長		1.5m

リモコン

電源	DC 3V (単4乾電池 X 2)
操作距離	約7m (但し直進)

※年間消費電力量:年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に使用する電力量です。

- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。国外では放送方式が異なり使用できません。
- 仕様および外観、ソフトウェア、付属品は、改良のため予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

その他

お手入れのしかた

警告

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。シンナー、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。化学ぞうきんを使う時は、その注意書きに従ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤や石けんを溶かした水に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取ってください。
- 液晶パネルの表面には、薄いガラス板の上にコーティングが施されています。液晶パネル保護のため、次のことをお守りください。
 - 液晶パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したり、こすったりしないでください。傷付き・変色の原因になります。
 - 液晶パネルの表面に結露などによる水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色・ぼやけの原因になります。
 - 液晶パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷が付き、色ムラ・変色・ぼやけの原因となります。

商標などについて

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

廃棄の際のご注意

本機を廃棄処分する場合や他の人に譲渡したりする場合、「設定初期化」を実行していただき、設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行ってください。**P.25**

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

点検について

愛情点検



ご使用の際このような症状はありませんか？

長年ご使用のテレビの点検を!!

- 本体が異常に熱い。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いていたり、触れると通電したりしなかったりする。
- こげ臭いにおいがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、使用を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理(有料)をご依頼ください。

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日より 1 年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※弊社は出張修理サービス等を行っていません。

※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

「修理規定」に基づき修理を承っております。

「修理規定」の最新版は弊社ホームページでご確認いただけます。

アグレクションホームページ

<https://www.agrexsione.co.jp>

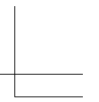
■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

その他

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切責任を負いません。

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings present.

保証規定

- ・保証期間内の製品については、保証規定とあわせて「修理規定」も必ずお読みください。同意いただいたうえで、アフターサービスをご依頼ください。
 - ・本規定は予告なく変更する場合がございます。本規定の最新版は、当社ホームページでご確認いただけます。なお、本規定は常に最新版を適用するものとします。
 - ・延長保証など、当社保証とは別の保証を利用される場合は、修理品送付前に販売店にお問い合わせください。
 - ・保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
 - ・保証期間は使用開始時期・使用期間にかかわらず、保証書に記載の期間です。修理後も保証期間に変更はありません。
 - ・保証期間内であっても、保証内修理適用判断については、当社権限にて実施させていただきます。
- 全て無料保証修理をお約束するものではありません。

- ①ご購入日から保証期間内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店又は当社カスタマーセンターにお申しつけください。
当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理いたします。
- ②本製品をネットオークション、ネットフリーマーケット、転売品、中古品またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。
- ③本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。
当保証規定に基づく修理の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。
- ④保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
 - ※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
当社によらない分解、改造（ソフトウェアを含む）、修理等が行われた痕跡がある場合。
 - ※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送、強い衝撃等による故障または損傷。
 - ※火災、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、虫害、鼠害、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、錆、カビ、たばこの煙等による汚れ、ゴミや埃などの異物混入、あるいは異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
 - ※一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用など）のご使用、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。
 - ※保証書の提示がない場合。購入日が確定できるレシート、納品書、販売店からの発送メール等が無い場合。
 - ※保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ※付属品（リモコン、アダプター等）と消耗品（バッテリー、フィルター等）の交換。
 - ※液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良・修理・返品制度の対象外となります。
- ⑤サポート及び保証書は日本国内にのみ有効です。Effective only in Japan.

V1.05

製品保証書

持込修理

品名 32型 DVD再生機能付きハイビジョンテレビ		型名 D32TV	
お買い上げ日 年 月 日		保証期間 1 年	
お客様 お名前			
ご住所			
販売店（記入のない場合は保証対象となりません） ※ただし購入日を確定出来る書類(レシート、納品書、販売店からの発送のメール等)がある場合は保証対象となります。			
印			

※本製品のサポートは日本国内限定となります。

※製品をお送り頂きます場合は必ずご連絡後にお願いします。

発売元：株式会社アグレクション



〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

カスタマーセンター

048-940-5889 受付時間:平日 9:00~17:00(土日祝祭日および弊社指定休日を除く)

<https://www.agrexione.co.jp>